

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科		芸術	科目 音楽Ⅰ	
教科：芸術	科目：音楽Ⅰ	単位数：	2	単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組				
教科担当者：（A組～G組：篠崎 〃）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）				
使用教科書：（音楽ⅠTutti+ 教育出版		）		
教科 芸術		の目標：		

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読譜をするために必要な楽典基礎を理解し、読譜ができるようになる。 正しい発声で歌唱表現ができる。	楽譜を読み解き、それを音楽表現に生かすことができるとともに、自らの表現意図をもって音楽表現ができる。 創作したリズムを楽譜に書き表し、演奏できる。	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	ガイドランス 読譜をするための基礎を身につける	楽典基礎（五線・拍子・音部記号・音名） 筆記試験	○			○	正しい発声、リズム、音程で歌唱表現ができている。 曲想と音楽を形づくる要素とのかかわりを知覚し、楽曲の良さを味わって鑑賞できている。	○	○	○	6
	正しい発声で歌唱ができるようにさせる	親しみやすい楽曲を使った歌唱表現	○				楽典基礎を理解し、正確に読譜ができている。 曲想と音楽を形づくる要素とのかかわりを知覚し、楽曲の良さを味わって鑑賞できている。	○	○	○	6
	日本語の語感を感じ取りながら、表現を創意工夫する力を身につけさせる	日本歌曲 実技試験	○				日本歌曲の特徴を理解し、自らの表現意図をもって音楽表現ができている。 正しい発声で歌唱ができている。	○	○	○	8
	楽器アンサンブルの活動を通して、全体の響きを感じながら演奏する技能を身につけさせる	ミュージックベル 実技試験		○		○	全体の響きを感じながら、自らの役割を理解し、他者と協働してアンサンブル活動に取り組んでいる。	○	○	○	8
2 学 期	リコーダーの正しい奏法を身につけるとともに、楽器の特徴を理解させる。 全体の響きを大切にしながら、アンサンブルができるようにする。	アルトリコーダーの奏法基礎 ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのアンサンブル 実技試験		○		○	各パートのはたらきを理解し、全体の響きを大切にしながら音楽表現ができている。 リコーダーの特徴や正しい奏法を理解して、表現を創意工夫できている。	○	○	○	12
	イタリア語の発音と発声について指導する。 イタリア歌曲の特徴を理解させる。 合唱という表現形態の特徴を理解し、全体の響きを大切にしながら表現を創意工夫できる力を身につけさせる。	カンツォーネ 実技試験 混声合唱	○			○	イタリア歌曲の特徴を理解し、自らの表現意図をもって音楽表現ができている。 全体の響きを感じながら、正しい発声、リズム、音程で歌唱表現ができている。	○	○	○	12
3 学 期	ドイツ語の発音と世界の音楽について指導する。	ドイツ歌曲 実技試験	○			○	ドイツ歌曲の特徴を理解し、自らの表現意図をもって音楽表現ができている。 外国語での歌唱表現に意欲的に取り組んでいる	○	○	○	10
	曲想と音楽を形づくる要素との関わりを知覚するとともに、舞台芸術の良さを味わいながら鑑賞できるように指導する。	総合舞台芸術の鑑賞 オペラ				○	曲想と音楽を形づくる要素との関わりを知覚するとともに、舞台芸術の良さを味わいながら鑑賞できている。	○	○	○	8
										合 計	70